

単元名 九州地方 —自然とともに生きる人々の暮らし—

1 単元のねらい

九州地方は、火山活動に由来する地形や台風・梅雨の影響による多雨の気候など自然環境に特色をもつ地方である。九州地方の人々は、こうした特色を上手く活用したり、自然環境から起こる諸問題に順応したりすることで自然とともに生きていることが分かる。また、工業化によって環境問題が生じた過去から、環境をただ活用するのではなく、環境保全の取り組みに力を入れるなど、環境にできる限り負担をかけずに開発を進め、持続可能な社会の構築を目指していることを考察することができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	・図や表、写真など資料を正しく読み取ることで、九州地方の地域的特色、人々の工夫を理解することができる。	・九州地方の地域的特色を、環境問題や環境保全を中核とした考察をもとに多面的・多角的に捉え、その過程や結果を適切に表現している。	・九州地方の地域的特色を捉えるために、主体的に学習に取り組もうとしている。

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5 単元のまとめ
知識・技能		●	○		
思考・判断・表現				●	○
主体的に学習に取り組む態度	●				○

3 単元構造図（全5時間）☆獲得する認識

単元名 九州地方 -自然とともに 生きる人々の暮らし-	単元学習前の生徒の認識 九州地方は温暖な気候の地域であることは知っている。それ以外の九州地方の自然 的お特徴や地域的お特徴にはどのようお認識があるか。
--	--

1 九州地方をながめて ●主体的に学習に取り組む態度 九州地方はどのような特色のある地域なのだろう。
☆火山（火山灰・シラス・カルデラ） ☆多雨（台風・梅雨前線） ☆温暖（さんご礁）

教科書の本文や雨温図から九州地方は、火山が多い、温暖で多雨など自然環境に特色のある地域であることが読み
取れる。火山が多い、温暖で多雨な自然環境の土地ではどのようなことが生じるのか、そして九州地方の人々はそんな

九州地方では、火山や温暖多雨の自然環境とどのよう

2 自然環境に適応する人々の工夫 ●知識・技能
九州地方の人々は、自然環境から生じる問題にどのような工夫をして生活しているのだろう。
☆火山 ☆梅雨 ☆土石流 ☆間伐

九州地方では、路面清掃車や克灰袋、桜島上空の風向きなど火山とともに生活する様々な工夫が行われて
いる。また、多雨による土石流への対策で砂防ダムの設置や間伐をすることで未然に防ぐなどしている。九州地方

3 自然の制約の克服と利用 ○知識・技能
九州地方の人々は、自然の恵みをどのように活用しているのだろう。
☆再生可能エネルギー（地熱発電） ☆二毛作 ☆促成栽培 ☆さんご礁・リゾート

九州地方では、火山の多さを温泉や地熱発電に活用して恩恵を得ている。また、多雨の気候と平野の土地

4 持続可能な社会をつくる ●思考・判断・表現

自然環境を守るために必要なことは何なのだろう。

☆公害 ☆エコタウン ☆持続可能な社会

北九州市や水俣市は1960年代に工業化の影響で大気汚染や水質汚濁が深刻化し、公害問題も生じた。公害問題を経て、北九州市では企業がこれまでの技術を改良し、環境に負担をかけない生産に努めた。

結果、エコタウンに選ばれた。また、水俣市では企業だけでなく、市と住民とが協力した「まわり活動」など自

5 九州地方を振り返ろう ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

単元の学習を生かして、自然環境と人々の工夫について説明しよう。

取り上げる内容：地熱発電

説明内容：小学生のみなさん、九州地方では、火山の多い自然環境による地下の高温の熱水と蒸気を利

【単元終了後の生徒の認識】

九州地方では、火山や温暖多雨な自然の恩恵を活用し地熱発電や促成栽培などを行っている。しかし、それらの自然は、火山灰や土石流など九州地方の人々の生活の制約となることもある。九州地方の人々は、路面清掃車や砂防ダムなど様々な工夫をこらしながら、自然環境に順応して生活している。また、自然環境への工夫も、過去の環境問題を振り返り、環境保全の意識をもつなど持続可能な社会の実現を目指したものであることが分かった。

4 単元指導計画

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料 指導・援助
1 九州地方をながめて	九州地方の自然環境について調べる活動を通して、九州地方は火山が多く、温暖で多雨な気候であることを知り、そこから単元を貫く課題を設定し、意欲的に追究しようとすることができる。 ☆火山 (火山灰) (シラス) (カルデラ) ☆多雨 (台風) (梅雨前線) ☆温暖 (さんご礁)	1 九州地方について知っていること、イメージすることを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">九州地方はどのような地域なのだろう。</div> 2 資料から調べ、わかったことを発表する。 ・ 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山や、桜島など火山が多い。 ・ 全体的に冬でも温暖なところが多い。 ・ 台風や梅雨前線の影響を受けて年間を通して降水量が多い。 ↓ 九州地方は自然環境に特色のある地域である。 3 単元を貫く課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">《単元を貫く課題》</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">九州地方では、火山や温暖多雨な自然環境とどのように共生しているのだろう</div> 4 本時のまとめをする。	九州地方に興味関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	◇地図帳の資料 ◇雨温図 ◇九州地方の自然環境 ◇農作物への降灰 ◇2017年に日本に接近・上陸した台風。 ・雨温図から年間を通して降水量が多いこと、温暖であることを読み取らせる。
2 自然環境に適応する人々の工夫	九州地方の自然災害の特徴と、その災害に対する対応について調べる学習を通して、九州地方の人々が行っている災害に対する工夫について理解することができる。 ☆火山 ☆梅雨 ☆土石流 ☆干ばつ	1 前時の学習を振り返り、火山や台風が多い九州地方の人々の生活について予想する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">九州地方の人々は、自然環境から生じる問題にどのような工夫をして生活しているのだろう。</div> 2 資料から調べ、わかったことを発表する。 ・ 鹿児島市では、火山灰への対策として、路面清掃車が道路を掃除したり、市民が「克灰袋」に集めた火山灰を市が回収している。 ・ メールで桜島上級の風向きや噴火の情報をメールで送るサービスがある。 ・ 沖縄では、台風から家を守るため、軒を低くしたり、屋根瓦を漆喰で固めたり、石垣で囲ったりしている。 ・ 台風や梅雨前線の影響で土砂崩れが起き、土石流の被害が起きるため、砂防ダムの建設	九州地方の災害について、地形図と関わらせながら、読み取っている。 (知識・技能) 九州地方の災害に対する人々の工夫について、正しく理解している。 (知識・技能)	◇九州地方の自然環境 ◇鹿児島県の島々と火山 ◇爆発的な噴火をする桜島と鹿児島市街地 ◇火山灰の回収 ◇桜島の降灰の範囲を知らせるテレビの予報画面 ◇沖縄県の竹富島に見られる伝統的な家屋 ◇土砂の流出を防ぐ砂防ダム 自然災害を、気候や地形と関連付けて、読み取ることができるようにする。

		<p>や間伐，植林を行うことで，被害を防ごうとしている。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p>		
		九州地方では，火山や台風によって，火山灰，台風，土砂災害などの被害を受けやすい地域である。しかし，九州地方に住む人たちは，それらに対して様々な工夫をして，生活していることが分かった。		
	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料 指導・援助
3 自然の制約の克服と利用	<p>九州地方で盛んな農業や観光業に関する具体的な資料を，自然環境と関連させながら読み取る活動を通して，九州地方の人々が自然の恵みを活用しながら生活していることを理解することが出来る。</p> <p>☆再生可能エネルギー（地熱発電） ☆二毛作 ☆促成栽培 ☆さんご礁・リゾート</p>	<p>1 前時までの自然環境についての復習を行う。</p> <p>2 九州地方の自然災害について整理した後，自然環境による恵みについて関心を持たせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">九州地方の人々は，自然の恵みをどのように活用しているのだろう</div> <p>3 資料から九州地方の火山・気候に着目して，課題の追究をする。</p> <p>【火山】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地熱発電を行うなど，再生可能エネルギーを活用している。 <p>【気候】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温暖な気候とビニールハウスを使って出荷時期を早める促成栽培が行われている。 <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>九州地方が火山の恵みを，温泉地や地熱発電所に利用してきたことを理解している。</p> <p>（知識・技能）</p> <p>九州地方で盛んな農業や観光業を，自然条件や課題と結び付けて捉えている。</p> <p>（知識・技能）</p>	<p>◇湯けむりが立ち上がる温泉街</p> <p>◇九州地方の主な温泉地と地熱発電所</p> <p>◇日本の地熱発電の地方別割合</p> <p>◇日本最大級の地熱発電所である八丁原発電所</p> <p>◇肉牛，豚の飼育数の県別割合</p> <p>◇肉牛を飼育する牧場</p> <p>◇宮崎平野に広がるビニールハウス</p>
		九州地方では，火山の多さを温泉や地熱発電に活用して恩恵を得ている。また，多雨の気候と平野の土地を生かして九州北部では二毛作が盛んに行われている。九州南部では，シラスが稲作に適さないため，畑作や畜産が盛んに行われ，特に畑作では温暖な気候も生かして促成栽培が行われている。さんご礁が広がる美しい海を観光業に生かしリゾート地として開発をするのも温暖な気候を生かした例である。このように九州地方の人々は，特色ある自然の恵みを生かして生活をしている。		
4 持続可能な社会をつくる	<p>九州地方の人々は，生活の中心となっている自然環境を守るために，住民，企業など地域に関わる一人一人が自然環境を大切にする意識をもっていることが分かる。</p> <p>☆公害 ☆エコタウン ☆持続可能な社会</p>	<p>1 前時までの振り返りをし，九州地方は自然環境が特色という意識をもつ。</p> <p>2 九州地方の高度経済成長時の様子と現在の様子を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長時は大気汚染，水質汚濁が深刻化し，公害問題となる。 現在はきれいな環境となっている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自然環境を守るために必要なことは何なのだろう</div> <p>3 北九州市，水俣市は環境問題をどのように</p>	<p>各種の写真などの資料から，自然環境を守るためには，地域に関わる一人一人が環境を大切にすることを大事であることを読み取り，自分の考えをまとめている。</p> <p>（思考・判断・表現）</p>	<p>◇北九州市の環境の変化</p> <p>◇北九州エコタウンでのリサイクルの流れ</p> <p>◇北九州市のリサイクル率とごみの排出量の移り変わり</p> <p>◇水俣市のごみの分別</p>

		<p>解決したのか、教科書の本文、資料を使って調べる</p> <p>【北九州市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業が技術を改良し、環境に配慮した生産活動を行った。 <p>【水俣市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もやい活動」など市と住民とが協力して自然環境の保全に努めた。 <p>4 北九州市、水俣市の意識や取組を通して課題の追究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市、住民、企業とその土地に関わる全ての人が環境を大切にすることを意識を持ち行動することで、環境を守ることができる。 <p>5 本時のまとめをする。</p>		
		<p>北九州市や水俣市は高度経済成長時の公害などの問題を解決するために、企業は技術を改良し、環境に負担をかけない生産に努めている。また、市と住民が協力して「もやい活動」など環境保全の活動を行っている。市、住民、企業などその地域に関わる人一人一人が自然環境を大切にすることを意識をもつことで、自然環境を守ることができる。</p>		
	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料 指導・援助
5 九州地方をふり返ろう	九州地方についての学習を振り返り、自然と人々の関係について説明することができる。	<p>1 教科書 p 195 のりこさんが作成した図に取り組み、九州地方についての振り返りを行う。</p> <p>「自然環境と人々の工夫」をテーマにして、自然と人々の関係について考える。</p> <p>2 教科書の単元まとめの活動に取り組む。</p> <p>【取り上げる内容】 地熱発電、温泉、リゾートなど</p> <p>【説明内容】地熱発電の場合 小学生のみなさん、九州地方では、火山の多い自然環境による地下の高温の熱水と蒸気を利用して地熱発電が活発に行われています。人々はその土地の自然環境のめぐみを上手く活用して生活しています。</p>	九州地方についての学習を振り返り、自然と人々との関係について考えている。 (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)	<p>◇りこさんが作成した図（途中のもの）</p> <p>◇小学生への説明原稿</p>